

＼令和7年度 IDE大学セミナー／

「大学は自らの存在意義とどう向き合うのか —女子大学の選択から考える—」

わが国の大学はかつてないほど流動的で、複雑で、不確実かつ曖昧な“VUCA”の時代のただ中 있습니다。こうした中でわが国の大学は自らの存在意義とどう向き合っていくべきか。この根源的で切迫した問いについて考えるために、本セミナーでは女子大学に焦点を当てて議論を深めていきます。

2025.11.27(木)
14:00～17:30

会場 キャンパスプラザ京都

(京都市大学のまち交流センター) 2階ホール
所在地：京都府京都市下京区東塩小路町939

参加費 無料



開会の挨拶

國府 寛司

(京都大学理事 (教育・学生・入試担当)・副学長)

基調講演

「女子大学の存在意義と挑戦：国際比較から」

山田 礼子

(同志社大学社会学部教授)

話題提供

「京都光華女子大学の新たなLaunch」

高見 茂

(京都光華女子大学学長)

「小規模女子大学は、どうすれば生き残れるか」

栗田 康文

(学校法人平安女学院専務理事)

「女子大としての個性を磨く—あらゆる世代の女性の自律と
社会参画を支援する相山女学園大学の取り組みー」

相山 泰生

(学校法人相山女学園理事長)

全体討論

司会：石川 裕之

(京都女子大学高等教育開発センター教授)

申し込み

以下のURLまたはQRコードから
お申し込みください。

後日、Zoom接続URLをご案内します。
<https://forms.gle/mV7fyBZboEt4QFjV9>

申し込み締め切り

2025.11.20 (木)



主催：IDE大学協会近畿支部、京都大学

お問い合わせ

京都大学広報室
IDE大学協会近畿支部事務局

TEL : (075) 753-2070 FAX : (075) 753-2094

E-mail : ide_seminar@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp